

平成 28 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況報告書

**事業名:グリーンエア工法の開発(その2)秩父産適寸材による中温乾燥材の試験乾燥****団体名:彩の木の家ネットワーク・グリーンエア工法推進グループ****事業の目的・内容**

昔ながらの方法である適寸丸太による製材は施工後の変形を少なくすることができると言われてい  
ます。そこで、今後の付加価値向上が期待できる平角材(\*)を対象に適寸丸太による中温による試験乾  
燥を実施し、吸放湿性、香り、表面構造への影響、割れ、含水率、ヤング率などの品質を検証します。

**今までの活動状況**

平成 28 年 8 月：(株)金子製材と NP0 木の家だいすきの会とで、丸太の調達、試験製材の方法、含水率及  
びヤング率の計測方法など進め方を相談

平成 28 年 9 月～10 月：(株)金子製材が 120×180×4000 の平角材（約 30 本）を製材するため適寸丸太を  
調達

平成 28 年 11 月：(株)金子製材が平角材の中温乾燥材（約 30 本）を実施。

平成 28 年 11 月：NP0 木の家だいすきの会と工学院大学建築学部中島裕輔教授とで、吸放湿性能試験、  
匂い試験、SEM による表面構造試験の進め方を調整

**これからの活動・行事**

(株)金子製材が平角の中温乾燥木材のヤング率・含水率を計測、NP0 木の家だいすきの会及びメンバー  
工務店で木材の割れの状況の目視調査を実施します。

工学院大学中島研究室が中温乾燥材の吸放湿性能試験、匂い試験、SEM による表面構造試験の実施し  
ます。

平成 29 年 2 月に NP0 木の家だいすきの会が試験結果をとりまとめ報告書を作成します。